

クリニック 10年の思い出

「しみずクリニックふさ」が開業から10年を迎えるという、何かあつという間の時間でした。クリニックは一步ずつ基礎を積み上げてきたように思いますが、私は何をしていたのだろうか？私の数値は悪くなるばかりで一つも良くなっていないし、悪くなるばかりです。薬の数も多くなり、インスリンの単位も増え、1本から2本打つことになりました。朝・昼・晩食前に毎回打つ。しかし、忘れて打たなかった日が続くと自分でもイライラして周りの人に当たり散らす。まあ～それを見かねてか、開業2年位だったか縁先生からリブレという素晴らしい器具を紹介されました。アメリカの会社が開発した優れものという血糖値を測る器具でした。私はその時思いました。そのうち健康もお金で買える時代が来るだろうと。今、当初から思い出すと、縁先生に連れて行けないと言われながらも、諦めずについてきて良かったと思っています。患者の皆さんも看護師さんも知っている方が多く、不安もなくすぐに溶け込んで治療を受けることが出来、先生や看護師さんには感謝しております。そんなこんなする内、2年が過ぎた頃に縁先生から「ふさの会」の役員になることを勧められました。当時、私は地元の町会役員や大学のOB役員などを受けていて不安もありましたが、正式に引き受けさせて頂きました。その年から、春のハイキング・夏の研修会や秋の一泊旅行など楽しいことばかりで血糖値のことをあまり気にせず皆さんを信用して行動しているうち、少しずつ下がり始めてきました。しかし、私は今もリブレを忘れてたり、インスリンを打ち忘れてたりして血糖値が下がっても長続きせず高くなり、70%の使用率に届かず着けている意味がないとよく指摘されます。それでも自分としては試行錯誤しながら、もっと下げたいと考えています。最後になりましたが、「しみずクリニックふさ」が10周年を迎えるにあたり、本当にクリニックの関係者の皆さんが患者の皆さんの事を思い、一生懸命患者の為に心配りを毎日行っている事に心から感謝申し上げ、これからも20年30年と末永くお付き合い下さりますようお願いし、私ももっと糖尿病と真剣に向き合い血糖値を下げる事に努力していきたいと考えています。また、ふさの会の役員として、患者さんの身になって楽しい行事や会合を実施して、ふさの会に入会して良かったと言ってもらえるように努力していきたいと考えています。

「クリニックふさ」10周年誠におめでとうございます。